

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212U201	老年看護学概論 (Introduction to Gerontological Nursing)	専門教育科目 老年看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	2	前	水・1	三重野英子・小野光美・阿部世史美 内線：5093 E-mail：eikomi@

**【授業の概要・到達目標】**

高齢期を生きる人々（高齢者）とその家族に対して、個別的看護を展開するために最も基礎となる知識『老年看護の原理』『高齢者の生活像』を学修することを通じて、老年看護実践能力の基盤を形成する。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 老年看護学および老年看護の概念を考察し、説明する。							○
2. 自分自身もつらいや高齢者に対するイメージを言語化し、自己の老年観を述べる。							○
3. 「加齢」「老化」「高齢者」「高齢者の健康」「生活機能」の概念を説明する。	○						
4. 加齢現象について、心身機能・構造と日常生活（活動・参加）の両面から検討し、高齢期を健やかに生きるための知識を説明する。	○						
5. 統計資料と高齢者の語りから、現代を生きる高齢者の多様な実像を説明する。	○	○					
6. 老年看護の実践基盤となる看護倫理の原則を理解し、実践場面での倫理的課題を分析・検討する。				○			○

**【授業の内容】**

1	老年看護とは・老年看護学とは、私の老年観
2	加齢・老化の概念、高齢者の健康モデル、ICFモデル
3～6	高齢者の心身機能・構造の変化と日常生活への影響
7	現代を生きる高齢者の実像（統計・調査からみた高齢者像、高齢者の語りからみた高齢者像）
8	老年看護実践における倫理的課題

**【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】**

A：知識の定着・確認	○	小テスト、学習記録による振り返り等	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像や看護実践事例を用い、老年看護のイメージを拡げる。</li> <li>学生個々が考え、意見を述べる機会を頻繁に設ける。</li> </ul>
B：意見の表現・交換	○	イメージマップ、発問、グループ検討	
C：応用志向	○	グループによる事例検討・発表	
D：知識の活用・創造	○	高齢者へのライフ・ストーリー・インタビュー	

**【時間外学修の内容と時間の目安】**

課題レポート	ライフ・ストーリー・インタビューの協力者の選定・依頼・計画立案等の準備、実施、まとめ(10h)
準備学修	教科書等を用い、次回の学修内容について予習する。(11h)
事後学修	授業資料、教科書、小テストを用い、授業で学修した内容を復習する。(11h)

**【教科書】**

北川公子著者代表（2022）：系統看護学講座 専門分野Ⅱ老年看護学（第9版）、医学書院。

**【参考書】**

水谷信子他監修、三重野英子他編集（2024）：最新老年看護学（第4版）、日本看護協会出版会。

**【成績評価方法及び評価の割合】**

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6
ライフストーリーインタビュー・レポート	30%		○			○	
期末試験	70%	○		○	○	○	○

**【注意事項】** 毎回、学修記録の提出（Moodle アンケート）をもって出席状況を確認する。

**【備考】** 大学の感染対策方針に基づき、オンライン授業に変更する可能性がある。  
適時、授業資料や教材を Moodle にアップロードする（アップ時、メールで通知）。

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	三重野（看護師）、小野・阿部（看護師、保健師）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	・看護師としての活動経験をいかし、高齢者事例を教材に講義を行う。	
授業形態	面接授業	